

薩原第479号

令和7年11月27日

九州電力株式会社代表取締役社長執行役員 西山 勝 殿

薩摩川内市長 田中 良二

薩摩川内市議会議長 下園 政喜

### 川内原子力発電所の安全な運転管理等について（要望）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、貴社の川内原子力発電所2号機については、昨年7月4日に運転延長期間に入った1号機に続き、本年11月28日に運転延長期間に入ります。

また、本年10月24日には、貴社において原子力規制委員会に対し、川内原子力発電所の乾式貯蔵施設に係る原子炉設置変更許可申請書を提出され、また、同日、川内原子力発電所に関する安全協定に基づき、鹿児島県と当市に事前協議書を提出されました。

原子力発電を活用する上では、市民の安全と安心を確保することが重要であり、安全性の更なる向上と防災対策の充実強化に不斷に取り組むことが必要不可欠であることから、これまで貴社に対して、市長と市議会議長が共に強く要望しているところであります。

昨今の原子力発電を取り巻く情勢の中でもとりわけ乾式貯蔵施設については、核燃料サイクルの実現に向けた見通しを含め市民の関心が特に高まっております。

つきましては、原子力発電所の安全の確保は、第一に電気事業者の責務であり、最大限の注力が必要でありますので、当市及び当市議会は、川内原子力発電所1、2号機の40年超運転において、安全・安心の確保等に万全を期すため、下記の事項について要望します。

#### 記

- 1 川内原子力発電所の安全性向上に不断に取り組むとともに、安全な運転管理の徹底に最大限注力すること。
- 2 国内外において新たな知見が判明した場合は、安全性向上に向けた対応に積極的に取り組むこと。
- 3 使用済核燃料処理など核燃料サイクルの早期実現に向けて真摯に取り組むこと。
- 4 原子力発電に対する市民の不安払しょくのため、積極的な情報公開と分かりやすく丁寧な説明をすること。
- 5 地域経済の安定と発展のため、産業の多様化に向けた取組に努めること。